

別紙②

運営推進会議開催報告書

会議名 大野和光園なかよしデイサービス運営推進会議
施設名 大野和光園なかよしデイサービス
サービスの種類 認知症対応型通所介護
会議開催場所 大野和光園 会議室
開催日時 平成31年2月13日(水) 午前 10:30～11:30

<運営推進会議出席者>

構成区分	氏名	備考
利用者の家族	宮下 保男 様	
利用者の家族	廣瀬 ゆきゑ 様	
地域住民の代表者(篠座2区副区長)	清水 勇治 様	
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)	松浦 公子 様	
大野市民生環境部 健康長寿課	清水 幸恵 様	
さくら在宅介護支援事業所(管理者)	三浦 朋子 様	

<施設職員出席者>

職種	氏名	備考
理事長	砂子 三郎	
常務理事	山村 正人	
施設長(管理者)	阿部 静枝	
相談員兼介護員(副主任)(書記)	堀 亜住	

<議事録>

1 大野和光園 理事長挨拶

2 会議出席者の紹介

- ・運営推進会議委員
- ・大野和光園職員出席者

3 大野市福祉計画における認知症対応型通所介護の位置付け

- ・大野市福祉計画における利用者数、利用回数の見込と大野和光園中期計画との対比
- ・第7期介護保険事業計画における認知症対応型通所介護の説明
- ・大野市の現状と課題

4 活動状況報告

- ・平成 30 年度上期活動状況
- ・平成 30 年度下期活動状況
- ・認知症の生活自立度別利用者状況
- ・空き状況
- ・居宅介護支援事業所別利用登録者
- ・延べ人数平均介護度
- ・利用者の推移
- ・収益と人件費の推移
- ・人件費比率の推移
- ・介護、物損、傷病状況報告
- ・外出、行事等活動報告
- ・職員研修等受講報告
- ・ご家族の皆様への情報発信

5 質疑応答・意見交換

Q 外出、行事等には全利用者が行くのか。

A 全員が行くことが多いが、残った人には別のメニューで過ごしてもらおう。

Q インフルエンザの発生状況はどうか。

A 和光園は入所系の施設と併設しているが、この入所系の施設ではインフルエンザが利用者や職員で発症し、面会をお断りしたり、業者の立入を止める等の措置を行った。なかよしデイについては入口を全く別にして入所系の人たちとの接触を行わないように措置したため、罹患者は出ていない。

Q インフルエンザの予防注射を職員や入所系利用者が受ける時に、いっしょに受けさせてもらえないか。

A 利用者の日程調整ができれば可能であるので、対応する方向で検討したい。ただ、接種費用は負担願いたい。

Q 要介護度が低くても、毎日利用できるような対策はできないか。

A 点数の範囲内での利用となるので難しいが、サロンの方法で 2,000 円程度の負担で利用してもらっているケースはある。非常によいご意見として参考にしたい。

Q 生活自立度Mの人が 1 名おられるが、どのような対応をしているのか。

A 介護員がいっしょについて事業所内を散策したりしている。動ける人ではないので対応は難しくない。

◎ 利用させて頂いて非常にありがたく感じている。以前よりも状況が改善したと感じるし、家でも面倒をみやすくなった。金の問題ではないと感じている。

Q 中国人の実習生の受け入れ等も検討していきたいとのことであるが、実習生は何年かで帰ってしまうのではないか。

A 介護員不足の中で、これからどうしても対応していかなければならないことだと考える。3年から5年で帰ることが予測されるが、道筋ができれば順次新しい実習生を受入れることができると考えている。

6 今後の予定及び次回会議について

次回:平成31年7月18日(木) 10:30～ 開催予定